



商品開発と流通 新訂版

改訂教科書のご案内

早稲田大学教授 恩藏 直人

1) 教科書の特長

本教科書の改訂前からの特長としては、これまで個々に扱われていた「商品開発」と「流通」の課題を一冊にまとめ、「商品開発と流通の概要」「商品の企画」「事業計画の立案」「商品の開発」「商品の販売」「商品開発と流通に関わる新たな展開」という6つの章で、企業による商品開発と流通の取り組みについて掘り下げている点が挙げられます。

それぞれの章においては、生徒にとって身近なコラムを盛り込み、イラストを駆使することにより、学んで欲しい内容を具体的な事例や話題と結びつけているので、生徒たちは興味を抱きながら理解を深めることができます。

2) 改訂のポイント

『商品開発と流通 新訂版』では、これまでの『商品開発と流通』の良さや特長をしっかりと維持しつつ、改訂を行うことで、今日の経済社会において商品がどのように開発され、私たち消費者の手元どのように届くのかについてわかりやすく学べるようになっていきます。

今回の改訂では、「事例インタビュー動画」「ポジショニング・マップ作製アプリ」「生徒による商品開発の実践例」を新たに取り入れました。「事例インタビュー動画」では、企業において実際に商品開発を行っている方に登場してもらっていますので、生徒たちは臨場感を持ってトピックに向き合うことができます。この事例インタビュー動画には、対応したワークシートが指導者用デジタルコンテンツに収録されていますので、担当の先生方は視聴後の学習や成果物を評価材料にすることもできます。

「ポジショニング・マップ作製アプリ」では、生

徒たちの実習をサポートし、主体的な取り組みを引き出すきっかけとしています。プリントなどで作業させるより効率的で、生徒にも身近なアプリ操作なので、生徒の取り組みを引き出しやすいと思います。

「生徒による商品開発の実践例」では、同世代の取り組みが示されているので、授業で提示される課題を身近なものと感じさせるだけでなく、実習の進め方のヒントとなるはずで

す。他にも、「+ Work」を追加したり、章タイトルにその章で学ぶ内容に関する問いかけを入れたりしています。いずれも、生徒による主体的な取り組みを促し、単に記憶だけではない新しい時代の学びを実践させる工夫だといえます。

また、生徒が興味を抱きながら理解を深められるという従来からの特長もアップデートしました。具体的には、今日的なトピックとして、クラウドソーシング、ECサイト、ビッグデータ、シェアリングエコノミー、AIなどについての事例や項目を取り上げることで、インターネットやデジタルが当たり前となっている現在にふさわしい内容となっています。イラストについても、新たに追加しただけではなく、イラストの問いかけや吹き出しを生徒目線の内容に変更し、生徒たちがより親近感を持ちながら学習を進めることができるようになっています。

3) 先生方へのメッセージ

「商品開発」と「流通」は、私たちの生活から切り離すことができないばかりか、様々なビジネスと密接に結びついています。多様な分野で活躍することとなる多くの生徒たちにとって、この『商品開発と流通 新訂版』は貴重な学びをもたらしてくれると確信しています。